

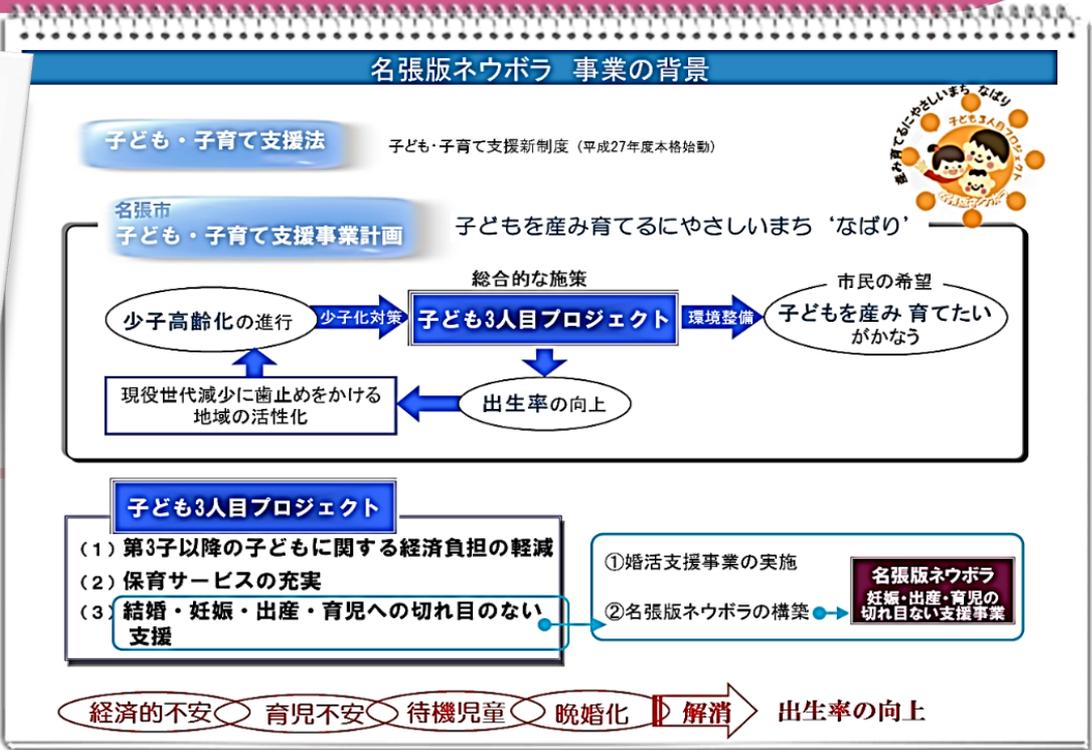
名張版ネウボラ とは

産み育てるにやさしいまち‘なばり’をめざした

妊娠・出産・育児の切れ目ない相談・支援の場であり、システムです



母子保健、その夢ある保健師 活動～地域の温かい眼差しが 注がれる仕組み～名張版ネウボラ





名張市の概要

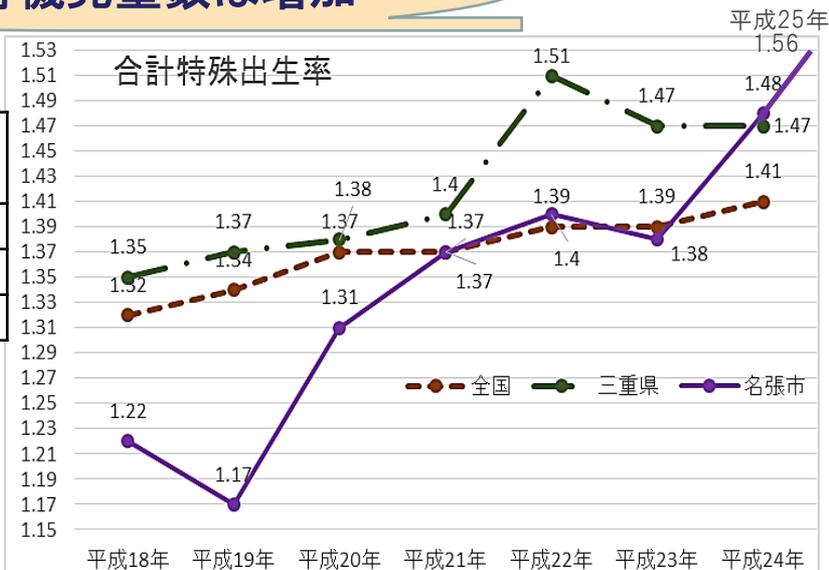
ベッドタウンのまち
人口減少と急速な高齢化
保育所の待機児童数は増加

核家族が多い

○人口 : 81,088人 (平成26年10月)

○年間出生数 : 669人 (平成25年) 657人 (平成24年)

合計特殊出生率	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
全国	1.32	1.34	1.37	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43
三重県	1.35	1.37	1.38	1.40	1.51	1.47	1.47	1.49
名張市	1.22	1.17	1.31	1.37	1.40	1.38	1.48	1.56



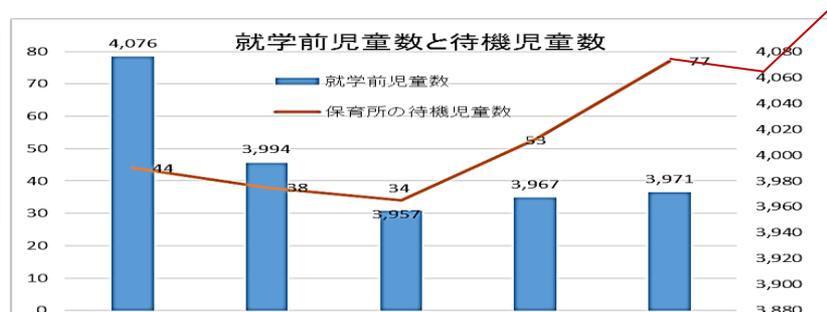
○核家族世帯の割合(対総世帯)【平成22年度国勢調査より】

	全国	三重県	名張市
割合	56.3%	58.7%	67.5%

- ・人工妊娠中絶届出数《名張市》 : 94件
- ・産科クリニック : 1件 ・助産所 : 0件 ・小児科4件

○就学前児童と待機児童数

	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
就学前児童数	4,076人	3,994人	3,957人	3,967人	3,971人	3,959人	3,986人
保育所の待機児童数	44人	38人	34人	53人	77人	71人	100人



○高齢化率の将来推計

	名張市の推計人口	平成12年	平成22年	平成37年	平成52年
名張市	総人口(人)	83,291	80,284	72,333	60,037
	高齢化率(%)	14.9	22.6	35.0	39.2
三重県	総人口(人)	1,857,339	1,854,724	1,714,523	1,507,656
	高齢化率(%)	18.9	24.3	30.8	36.0
全国	総人口(人)	126,925,843	128,057,000	120,656,000	107,276,000
	高齢化率(%)	17.3	23.0	30.3	36.1

※平成12年、平成22年は国勢調査
※平成37年、平成52年は国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』(平成25年3月推計)より

母子保健と子育て支援は、どうなっている？

ネウボラ； フィンランドの地方自治体が設置する母子支援地域拠点。

妊娠期から就学前までの健康診断や保健指導、予防接種を行い、子育てに関する相談や必要に応じて他の支援機関との連携を行なう。看護師、保健師、ソーシャルワーカーや心理士が親子をサポート。「マイ保健師」制度をとり、およそ100家庭を担当する。サービスは無料。出産は別医療機関で実施。 ネウボ・・・アドバイスする ラ・・・場所

名張市の母子保健の課題

課題と強み

名張市の強み

- ①多様なニーズ・背景〔社会的・生物的〕
妊婦の高齢化、幅広い年齢、生活困窮
- ②妊娠期の不安 3人目妊娠の不安
- ③妊娠中、産後のサービスの希薄さ
医療機関のかかわりと費用助成中心・
ニーズが把握できていない
- ④ハイリスクアプローチが中心となり、
潜在するニーズが把握できていない
虐待の予防や精神保健、低出生体重・
疾患等の個別支援の増加に伴う後追い支援
ポピュレーションアプローチの必要性
- ⑤母子保健事業と子育て支援事業
一体的な推進、状況に応じた選択の必要性

- ①地域づくり組織の自治力 15の組織
- ②まちの保健室のしくみ
- ③地域支え合いのしくみ
見守り・地域活動への参加支援・子育てひろば・
有償ボランティアなど
- ④主任児童委員〔地域住民〕による
乳児家庭全戸訪問事業のしくみとしかけ
- ⑤保健師の地域に根ざした保健予防活動
地域づくり組織と推進する健康づくり事業
- ⑥医療と福祉との連携
支援が必要な場合の密な連携・小児科医との連携
- ⑦市長の‘生涯現役のまち’‘産み育てるにやさしい
まち’への情熱、保健師活動への理解

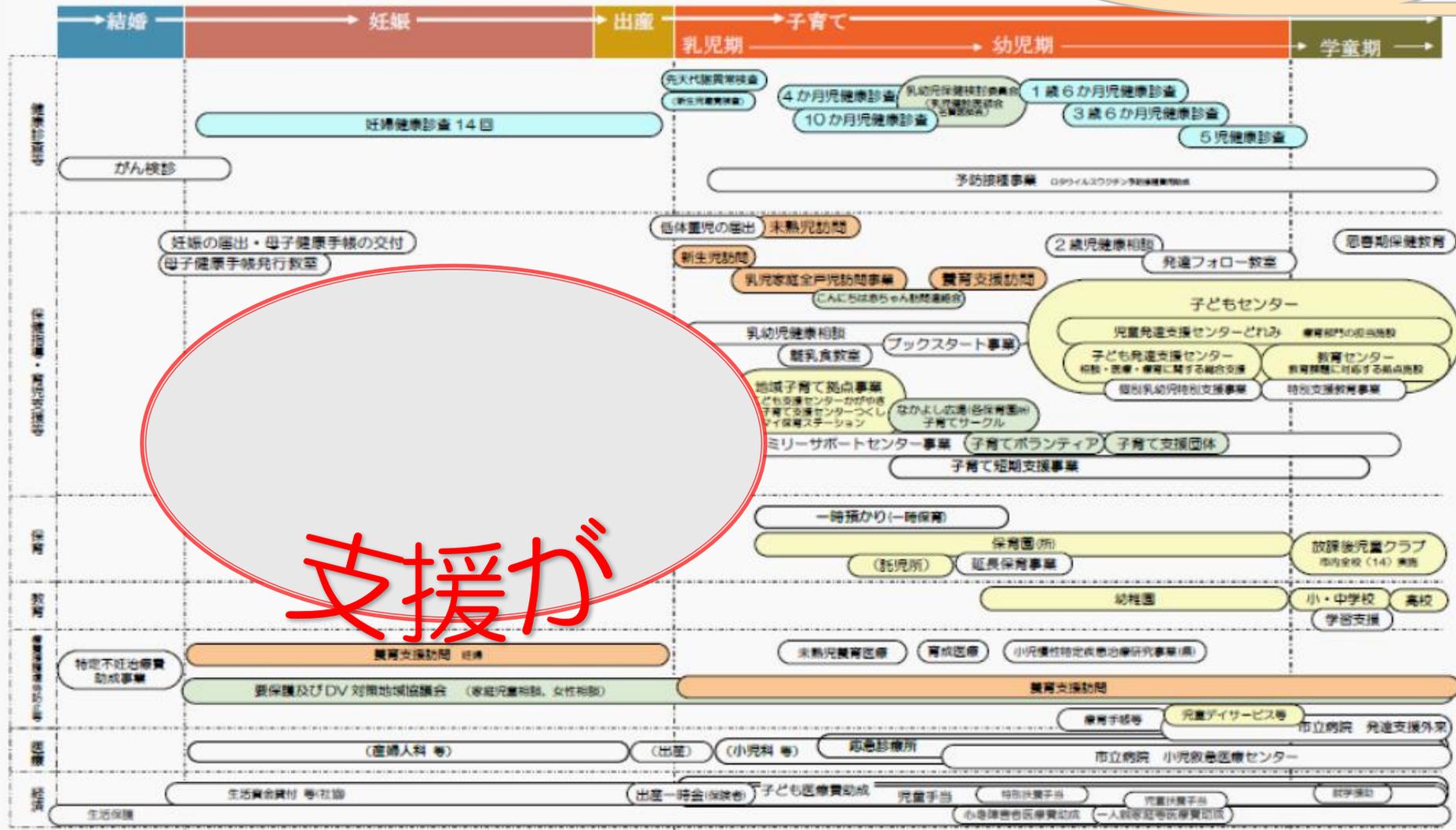
市の子育て支援の希薄な時期

妊娠中・産後直後

課題④⑤

名張市の母子保健・子育て支援に関連した事業 26年度以前

支援と支援のすきま



- ・行政関連部署が多岐にわたり情報も多く、複雑。家庭からするとどこに聞いてよいかわからない、敷居が高い。
- ・ハイリスク家庭以外の家庭で、サービスの利用や参加がない家庭に接触するような事業がなく、潜在したニーズを発見しにくい



フィンランドのネウボラをヒントにする理由

名張市の強み

地域づくり組織
の自治力

医療や福祉
との連携

まちの保健室の
しくみ

地域の

支えあいのしくみ

主任児童委員

[地域住民]による

赤ちゃん訪問の
しくみとしかけ

構築の方法

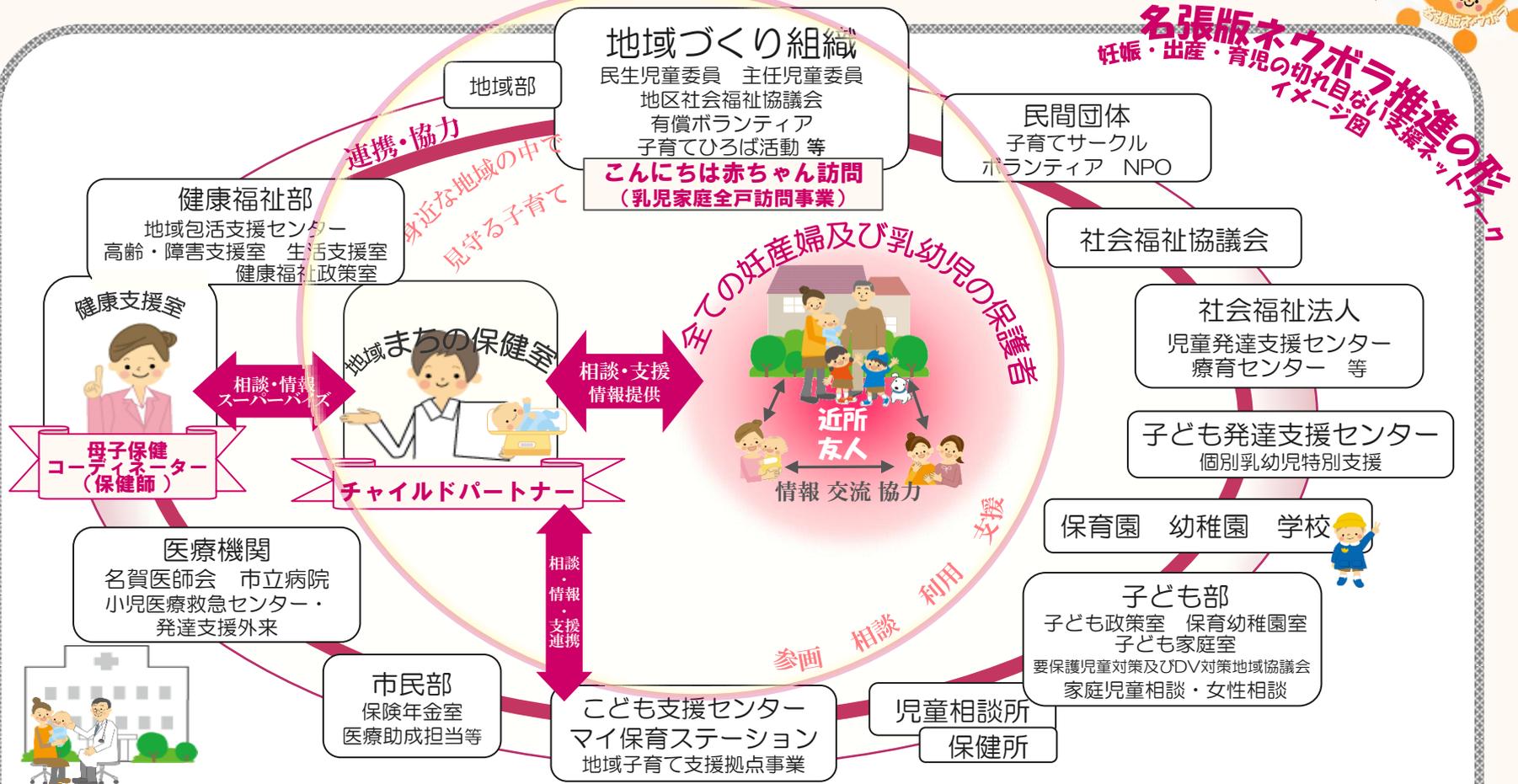
名張の地域の「人の力・もの(たてもの)・しくみ」を大切に活かして
市役所の課題解決と子育て世代のニーズをとりいれて

リノベーション

つなぐ

- 妊娠前から出産・育児期までの **時**
- **人と人・人と地域**
- 保健・医療・福祉の **しくみ(人)**

名張版ネウボラ



- ・身近なところで、妊娠段階から出産・育児まで継続的に相談を受ける
- ・母子保健と子育て支援サービスの有効な利用支援を行う
- ・個人→家族→近所→地域のエンパワーを高め、地域のソーシャルキャピタル醸成を図る

妊娠前の教育、妊娠中の相談・支援、産後直後の心身のケアができる体制を整備

26年度より 新たに取り組んでいる事業より主な事業

事業名



- ① チャイルドパートナー・母子保健コーディネーターの設置
- ② 健康教育・相談事業
- ③ 産前産後サポート事業 (地域の子育て応援力事業)
- ④ 産後ケア事業・医療機関連絡体制整備



ネウボラ印 チャイルドパートナーや産後ケアの場様々な場で共通して使用します。母子健康手帳は大切な母と子、支援者をつなぐ記録、カルテです。母子健康手帳の活用をさらに推進します。

となりのまごちゃん応援教室



地域のシニア世代への教室

市全体へのきっかけ作りから各地域開催へ ③①②

チャイルドパートナーの設置

15の公民館
30名



身近な相談場所の整備・地域との連携 ①②③

安心育児・おっぱい教室、相談 2か所



妊娠中と産後の相談教育支援・ニーズ把握 ④①②

産後ママのゆったりスペース



産後の相談支援・休息・ニーズ把握 ④①

産後ママとベビーのためのお泊りケア



産後の相談支援・夜間の休息・ニーズ把握 アセスメントとモニタリング(ハイリスク支援) ④①

医療機関連絡体制整備

生後2週間目全戸電話相談



産後のニーズ把握とアセスメント、相談支援 ①②

子育て交流会・子育て支援員研修

子ども・子育て支援制度



地域や多機関の支援者同士の連携 ③①

子育てプラン(ポピュレーション用)



妊娠届出時に行う子育て支援と母子保健サービスの効果的な情報提供ツール ①②

子育てプラン(ハイリスク支援用)



支援が必要な家庭への他機関連携による計画(ハイリスク支援) ①③④



健康づくりサポートブック
(妊娠前からの健康づくり)

準備中

名張版ネウボラのめざすこと

名張版ネウボラの推進



その他の取り組み

保育サービスの充実・予防接種
不妊治療費用助成
経済的支援・結婚や住居 など

推進のpoint

- フォーマルなちょっと「おせっかい」
- 顔と顔でつなげる・つながる
- 「切れ目なく」というより「重ね合う」
今までの役割から、みなが一步踏み出す
- 足りないもの(産後の支援)は足し、
既存事業の課題解決につなげる
- 工夫と対話と組織を超えた協働で各々の
事業を効率よく
- 子育て世代だけでなく支援者(シニア世代や
それぞれの部署や組織)にもメリットを

健やかな育児

子育て世代が 地域の中で
支援を受け入れたり、求めたり
ができる

産み育てるにやさしいまち ‘なばり’

少子化対策につながる

子育て世代が
家庭・子育て世代同士・
地域づくりや多世代、社会
に貢献できる

ソーシャルキャピタルの醸成

健康なひと・まち

生活習慣病予防・介護予防・
医療など 地域づくり

地域のシニア世代の
健康づくり・生きがい
支援につながる

生涯現役のまち

高齢化対策につながる



塩崎厚生
27th

(お断り)

- 三重県名張市 西畠知子さんには、たくさんのスライドをご用意いただき、研修会でご報告いただきましたが、容量の関係上、ホームページには資料の一部を抜粋して、掲載させていただいています。

東海北陸ブロック理事 谷口真理子